

第十二回 衆議院民法施行法案外二件審査特別委員會速記録

(第一號)

(四一)

明治三十一年六月二日午前十時二十一分開議

○委員長(大岡育造君) 是ヨリ民法施行法案ノ調査會ヲ開キマス、時刻モ參リマシテゴザイマスカラ、御質問ガアリマスレバ……

○(關信之介君) 全体ニ付イテデスカ

○委員長(大岡育造君) 説明ヲ政府委員ニ求メマス必要ガゴザイマスレバサウ致シマセウ

○政府委員(梅謙次郎君) 昨日大体ノ説明ダケハ簡単ニ致シタ譯デゴザイマスガ……

○(谷澤龍藏君) 昨日ノ續キデ少シ質問致シタウゴザイマス、此施行法案ノ大体ガ餘程既行權ヲ害スルヤウナ傾キニナツテハ居ナイカ、即チ昨日チヨット伺ツタ永小作ハ新法施行以來民法ニ定メテアル、ソレト同ジヤウナ法律ヲ設ケテ、サウシテ既往ノ永小作ヲ是デ確定シテ施行スルト云フコトガアル、其他大分ニ餘程既得權ヲ害スルヤウニ思ツテ居リマスガ、サウ云フヤウナコトデハナイノデスカ、ソレヲ一ツ、モウ一ツハ、此財權篇ナドノ規定ニ訴訟法ノ七百三十一條ヲ左ノ如ク改ム、又訴訟法ノ七百三十四條ヲ左ノ如ク改ム、施行法ハ其民法ヲ施行スルニ付イテ差支ヘル所、或ハ斯ウ云フ風ニ施行スルトカ云フヤウナコトハ、施行法ニ載セテモ宜カラウト思フノデゴザイマスガ、斯ノ如キ訴訟法ノ第何條ヲ改正スルト云フコトハ、ドウモ施行法ニ載セルヨリハ別ニシテ端ヲ改メテ矢張訴訟法ノ改正ヲスルヤウニセナケレバ甚ダ秩序ガ少シ立チ惡イヤウニ思ヒマスガ、外國デモサウ云フ例ハアルヤウニ聞キマスガ、大凡比較的矢張斯ノ如クナツテ居リマスカ、ドウモ秩序上是ハ訴訟法ノ改正トシテヤツタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、其邊ヲ……

○政府委員(梅謙次郎君) 第一ノ御問ハ昨日略々御答致シタ所ト同ジコトデアリマシテ、既得權ヲ害スルコトハ認メマスノデゴザイマスガ、ドウモ永久ノ小作權ト云フモノヲ認メマスルト、殆ド所有權ト變ラナイモノガ出來マシテ、ソレガ民法ニ定メテアル物權トモ違フタモノニナリマス、土地ノ制度ノ上カラサウ云フモノヲ認メマスルノハ、得策デナカラウ、而シテ數ガ非常ニ多ケレバ又考ヘモノデアリマスガ、今日デハ純然タル永久ノ小作權ト云フモノハ極メテ少數ナモノデアリマスルデ、ソレダケノモノニ就イテ多少既得權ヲ害スル嫌ハアルトモ、將來土地ノ制度ガ確立スル方ガ宜カラウト云フ考ヘナノデゴザイマス、尤モ民法施行ノ日ヨリ五十年ハ矢張存續スルノデアリマスカラ、大抵此永小作權カラ生ズル利益ハ此間ニ收メ得ラレルデアス様ニ致シタノデアリマス、尤モ民法施行ノ日ヨリ五十年ハ矢張存續スルノデアリマスカラ、大抵此永小作權カラ生ズル利益ハ此間ニ收メ得ラレルデアスラウト云フ考ヘナノデゴザイマス、ソレカラ第二ノ御問ハ、是ハ法典調査會ナドデモ議論モアリ色ニ評議ヲ致シタコトデアリマシタガ、成程是マデノ日

本デ法律ヲ作ル時ノ例カラ申シマスルト、仰セノ如ク民事訴訟法ノ改正ヲ別ニヤル、他ノ法律布告ノ改正モ亦別ニスルト云フ方が普通ノ例カモ知リマセヌガ、第一サウ致シマスルト云フト、小サナ法律ヲ澤山出サニヤナラヌコトニナリ、刑法改正案刑法附則改正案民事訴訟法改正案利息制限法改正案ト云フ風ニ澤山出サニヤナラヌヤウニナリマス、ソレガ隨分煩ハシクモアリマスル、ソレカラ又理屈ニ於テハ敢テ是デ差支ナカラウ、無論此民法施行法ト云フモノハ民法ヲ施行スルニ就イテ定メテ置カニヤナラヌコトヲ定メルノデアル、其事柄ノ重ナルモノハ所謂經過法デアツテ、新法ノ施行セラル、前ニ既ニ生ジタル事項ニ就イテ新法ヲ適用スルカ舊法ヲ適用スルカト云フ問題ヲ定メルノガ最モ必要デアリマスルシ、其外ニ舊法ノ主義ト新法ノ主義ト合ハザルコトハ、多少舊法ヲ改メテ而シテ新法ノ施行ニ妨ゲナイヤウニスルト云フノモ、新法ヲ施行スルニ就イテハ最モ大切ナコトデアリマスカラ、此施行法中ニ他ノ法律ノ改正規定ヲ設ケルト云フコトハ敢テ不倫ノコトデナイ、唯施行法ト云フモノヲ斯ク多クノ條數ヨリ成立ツタル所ノ一ノ法律ヲ出スト云フ例ハ、外國デモ古キ所デハサウ多ク見當ラヌノデアリマス、施行法ニシテ最モ完備シタルモノヲ出シマスルノハ、何時モ獨逸デアリマス、獨逸ハ御承知ノ通リ隨分縝密ナ學者モ多イ所デアリマスカラ差支ルテアラウト云フ問題ハ、總テ規定スルコトニナツテ居リマス、他ノ國デハ詳シイ規定ヲ設ケナイ結果ト致シテ、種々雜多ノ問題ガ新法施行ノ際ニ起ル、ソレハマニア學者ノ議論ニ任シテアリマスケレドモ、實ハ新法ノ施行ノ際ノ問題ト云フモノハ、實際ニ於テハ餘程ノ重大ナル關係ヲ持ソコトデアリマスカラ、詳シク規定シタ方ガ宜カラウト云フノデ規定致シマシタガ、其獨逸ノ例ニ依リマスルト云フト、斯ク法典ノ施行ニナルト云フトキハ、ソレト牽聯シタル他ノ法律ハ同時ニ改ムルト云フコトハ少シモ珍シイコトデナインオデ、今度民法ノ施行法ナドニハ民事訴訟法中數十個條改メタ所ガアル、他ノ法律デモ、向フハ御承知ノ通り、日本ヨリ成文ガ備ツテ居リマスカラ、ソレダケ民法ヲ施行スルニ付イテ改ムベキ法律モ多イノデアル、非常ニ數多ク改正シテアリマスル、是デ敢テ差支ナカラウト云フ考デゴザイマス

○(谷澤龍藏君) 「質問終結」ト呼フ者アリ

○委員長(大岡育造君) 質問ガ了リマシタナラバ、次ハ人事訴訟手續法ニ移リマス

○政府委員(河村譲二郎君) 本案ノ第一章ニハ婚姻事件養子縁組事件ニ關スル手續ヲ規定致シマシタ、其第三章ニハ禁治產及准禁治產ニ關スル手續ヲ規定致シタノデアリマス、此第一章及第三章ハ二十三年ノ法律第百四號婚姻事

件養子縁組事件及禁治產事件ニ關スル訴訟法規則ト云フモノヲ修正致シマシタ、本案ノ第二章ハ親子關係事件相續人廢除事件隱居事件ニ關スル手續デゴザイマス、是等ノ事件ハ其性質上婚姻事件等ト同様ニ特別ノ訴訟手續ニ依ルコトニ致シマスルヲ相當ト認メマシテ、此第二章ニ此規定ヲ設ケマシタ、ソレカラ第四章ハ失踪ニ關スル事件デゴザリマシテ、此二十三年ノ法律第十五號非訟事件手續法中ニ規定シテアツタコトデゴザイマス、併ナガラ、失踪ノ宣告ハ死亡ノ推定デアリマシテ、相續其他婚姻等ニ重大ノ影響ヲ及ボスモノデゴザイマスカラ、之ヲ非訟事件ト致シマスノハ簡略ニ失スル考デ、是ヲ一ツノ特別訴訟ノ手續ニシテ、即チ本案中ニ加ヘマシタ、ソレデ聊此特別手續ヲ設ケマシタ理由ト其特別規定即チ普通ノ訴訟手續ト異ナル點ニ就キマシテ大意ダケヲ説明致シタイト思ヒマス、婚姻縁組等ハ一家ノ基本トナリマスコトデアツテ、其基本ガ不適法ニ成立ツテ居ル、ソレヲ矯正スル必要ガアツテ訴訟ヲ起シ或ハ適法ニ成立ツテ居ルノニ、是ニ對シテ訴訟ヲ起スト云フヤウナコトガアリマンテハ、即チ一家ノ基本ニ變動ヲ及ボシマスルコトデ、社會ノ秩序ニモ影響シマスルコトデ、通常ノ裁判上ノ訴訟ノ如クニ當事者一個ノ關係ニ止マリマセヌ、ソレ故ニ特別ノ規定ヲ設ケル必要ガアルト認メマシテ即チ法律第百四號モ其趣意ヲ以テ規定セラレタモノト思ヒマス、ソレデ通常ノ訴訟手續ト異ナル所ハ、第一ニ此當事者ノ自由ニ任セルノデ放任スルト致シマシタ、通常ノ訴訟手續法ヲ適用致シマスルデ、裁判所ノ職權ヲ以チマシテ事實ヲ調ベマシテ、サウシテ裁判所ガ真實ト認メマスル所ノ事實ニ依シテ裁判ヲスルト云フコトニ致シマシタ、其精神ヲ以テ設ケマシタ規定ガ、例ヘバ此裁判所ノ管轄ヲ專屬ト致シマシテ當事者ノ合意ニ依シテ裁判管轄ヲ變更スルト云フコトハ許シマセヌ、即チ第一條ノ規定ガ其精神デ設ケタモノニアリマス、ソレカラ當事者ノ自白認諾ニ關シマスルコトハ通常訴訟ノ規定ヲ適用スルコトデゴザイマス、自白ヲスレバモウ事實ヲ調べヌデモ、ソレニ依シテ裁判ヲシテ行クトカ、或ハ認諾ヲスレバ宜シヤウデアルケレドモ、其自白其認諾ガ果シテ事實デアルヤ否ヤト云フコトヲ調ベル必要ガアルト認マシタ、ソレデ隨分婚姻等ノ事ニ就キマシテハ、夫婦が狎レ合ツテ、サウシテ婚姻ヲ無効ニスルトカ、又サウシテ第三者ニ損害ヲ加ヘルト云フコトハ出來安イコトデアリマス、自白ヲシタカラ直グニ無効ニスルトカ、認諾ヲシタカラ直グニ宜イト云フコトニナリマスルト、其弊害ガ生ズルコトデアリマスカラ、ソレデ縱令自白ヲ致シマシテモ、認諾ヲ致シマシテモ、矢張裁判所ノ職權ヲ以テ婚姻ガ無効デアルヤ否ヤト云フコトノ事實ヲ調ベルト云フコトニ致シマシタ、即チ此十條ノ規定デゴザイマス、ソレカラ矢張同シ考ヲモチマシテ、此缺席判決ノ規定ヲ適用致シマセヌ、申スマデモアリマセヌガ、缺席判決ハ、被告ハ原告ノ請求ヲ自白シタルモノト認メテ、此缺席判決ヲ致シマスルト、矢張前ニ申シタ自白ヲ認メルト云フコトニナリマスカラシテ、矢張缺席判決ハシナイデ以テ、缺席シテモ裁判所デ事實ヲ調ベテ、而シテ裁判ヲスル

コトニ致シマシタ、一條ノ規定ガ即チ缺席判決ヲシナイト云フ規定デゴザイマス、ソレガラ其外ニ、此婚姻事件等ニ就キマシテハ、檢事ガ干渉ヲ致ス
——檢事ガ立會ヒヲ致シテ、サウシテ事實ヲ調べル、即チ五條ノ規定六條ノ規定等ガ檢事ノ立會ヲスル場合ノ規定デアリマス、ソレカラ又裁判所モ、自分モ職權ヲ以テ事實ヲ調べテ裁判ヲスルト云フ規定ヲ設ケマシタ、又本人ヲラ今一ツ特別規定ノ重モノハ、婚姻事件等ノ訴訟ヲ度々繰返シテスル辯護士等ノ出マシタ場合ニモ、尙ホ本人ヲ呼デ調べル必要ガアレバ、本人ヲ呼ンデ調べル、本人ノ出マセヌ時分ニハ、相當ノ制裁ヲ加ヘルト云フ規定ヲ設ケマシタ、即チ十二條ノ規定、ソレカラ十四條ノ規定等デアリマス、ソレカラ云フコトヲ防ギマスルガタメニ、成ルベク之ヲ併合致シマシテ、一時ニ裁判ヲスル、左モアリマセヌト、今日離婚ノ訴ヘヲ起シテ、今度無効ノ訴ヘヲ起シ、又取消シノ訴ヘヲ起スト云フコトニナルト、一家ノ基本タル婚姻ニ就いて、屢々訴訟等ヲ起スト云フコトハ、家ノ騒動ニモナリマスルシ、又社會ノ秩序トモ關スルコトデアリマスカラ、ソレデ離婚ノ訴ヘ、取消シノ訴ヘ、無効ノ訴ヘ等ハ、一時ニ是ヲ併セテ起スコトガ出來ルコトノ規定ヲ設ケマシタノミナラズ、其一審ニ提出シマセヌ訴ヲ、二審ニ行ッテカラ出スコトモ出来ル、是ハ御承知ノ通り、通常ノ訴訟手續キテハ出來マセヌガ、此婚姻事件ニ就イテハ、一審ニ出サヌモノヲ、二審ニ行ッテマデモ出スコトガ出來ル、其代リニハ、既ニ前カラ原因ノアツタノニ拘ハラズ、二審ノ終リマデニ出シマセヌケレバ、最早其原因ニ依テ特別ノ訴ヲ更ニ起スコトハ出來ナイト云フコトニ規定致シマシタ、此規定ニ因テ、原因ガ既ニアレバ、總テ此婚姻等ニ關スル訴訟ニ於テハ認メ又所デゴザイマスルケレドモ、婚姻事件ニ就キマシテハ、當事者間ニ至ッタ判決ハ、第三者ニ對シテモ効力ガアルト云フ、規定ヲ設ケマシタデ、此規定ヲ設ケマスルト、第三者ガ參加デモ致シテ居ルトキニハ宣シウゴザイマスガ、參加致シテ居ラヌトキニハ、十分ニ第三者ノ主張ハ出來ナイト云フコトノ嫌ヒガアリマスルケレドモ、婚姻事件ニハ所謂檢事ガ立會ヲテ事實ヲ調べテスルカラ、ソレデ第三者ノ權利モ自ラ保護セラレテ居ルト考ヘマス、夫故ニ此判決ヲ第三者ニ對シテモ効力ヲ有スルト致シマシテ、一度裁判ヲスレバ、最早其婚姻事件ニ就イテハソレヲ探ラヌト云フコトニナリマス、ソレカラ其外ニ此婚姻事件ノ訴ハ檢事カラモ請求スルコトガ出來ルコトニナシテ居リマスカラシテ、其場合ニ於テ、一種特別ノ規定ヲ設ケマシタ、チヨット序ニ加ヘテ置キマスガ、併合ニ關シマスル規定ハ、第七條第八條第九條及ビ第十八條等ニ規定シテゴザイマス、ソレカラ檢事ガ請求致シマスルコトニ就イテ、尙ホ特別ノ規定ヲ設ケマシタ、ソレハ第十九條乃至第二十三條ニ規定致シテゴザイマス、其外ニ此訴訟當事者ニ就イテ規定ヲ

設ケマシテゴザイマス、此婚姻ノ取消シノ訴ハ、誰ヲ相手方トシテ出來タモ

ノデアルカト云フコトヲ規定ヲ致シマシタ、ソレカラ又其相手方が死亡致シマシタ時分ニ、其訴訟ノ承繼ニ就イテモ規定ヲ致シマシタ、第三條ノ訴訟デアリマスレバ、當事者が死ネバ其相續人が承繼スルト云フコトニナリマスカ、人事訴訟ハ財產ノ如ク相續人ノ承繼デナイト云フコトヲ認メマス、ソレデ訴訟費用ニ就イテモ、相續人が負フベキデアリマスガ、本件ノ如キ争ヒハ承繼シナイト云フコトヲ設ケマシタ、ソレ故ニ當事者が死亡シタ時分ニハ、

第二條ノ規定ニ因リマス、ソレカラ能力ニ就イテノ規定ヲ第三條ニ設ケマシタ、婚姻事件ノ特別規定ノ大体ハ――極大体デゴザイマスルケレドモ、唯今申上ゲマシタ通リデゴザイマス、縁組事件モ全ク同シ事柄デゴザイマスルカラ、總テ此規定ヲ準用致シマスルコトニシマシタ、即チ二十四條以下ノ規定ニナリマス、第二章ノ事柄ハ其二十七條以下ニ規定致シマシテ、一々其事柄ハ申述ベマセヌ、此箇條ニ就イテ御覽ヲ願ヒタウゴザイマスガ、矢張是ハ一家ノ成立組織ニ關スルコトデアリテ、公益上ノ關係ヲ有シマスルコトガアルト認メマスル、夫故ニ此人事訴訟法中ニ加ヘマシテ、管轄裁判所當事裁判等ノ規定ヲ致シマシタ、其他手續ハ第一章ノ手續ヲ準用スルト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ第二條ハ禁治產准禁治產ノコトデゴザイマス、是ハ大体法律百四號ノ規定ヲ取リマシタノデゴザイマスデ、多少修正ヲ加ヘ、或ハ増補ヲ致シマシタノデ、此本章ニ付キマシテ特ニ考ヘマシタコトハ、禁治產ノ手續ヲ非訴事件トナスヘキモノカ、又ハ訴訟事件トナスベキモノカト云フコトデ、御承知ノ通り、各國ノ立法例モ種ニナッテ居リマスガ、非訴事件ト致シマスレバ、手續モ簡略ニシテ、從ツテ費用モ節減カ出來マスガ、一方ニ於テハ又十分ニ權利ヲ保護スルト云フコトが出來ヌ、即チ簡略ニ失スルト云フ嫌ガアリマス、訴訟ト致シマスレバ費用モ掛リ、手續モ錯雜スル、何レモ一利一害デゴザイマス、ソレデ本案ハ析衷主義ヲ取リマシテ、先づ前段ハ非訴事件ノ手續デ、裁判ノ決定ヲ以テ裁判スル、格別争ガナケレバ、ソレデ始末ガ付ク、若シ瘋癲等ノ事實ニ就イテ必要ガアリマスレバ、其訴ヲ起スコトが出來ルト云フコトニ致シマシタ、其他細カイ事ハ個條ニ付テ御覽ヲ願ヒマス、第四章ハ失踪、是ハ民事訴訟法ノ施行細則手續大体ニ取ツテ少シ特別ノ點ダケヲ本章ニ規定致シマシタ、尙ホ各個案ニ付テノ御質問ガアレバ、御答致シマス

○(谷澤龍藏君) 第一條ノ司法省令ヲ以テ指定シタル地ヲ云々此手續ハドンナ……

○政府委員(河村讓三郎君) 是ハ豫メ極メテ置クノデ、非訴事件ノ方ニモ斯ウ云フコトデゴザイマスガ、非訴事件ノ方ハ關係人ノ申請ニ依テ規定スルノデ、本案ハ豫メ定メルト云フコトニ致シマシタノハ、當事者ノ自由ニ致シマセズ、職權デヤルト云フコトニ致シマシタ、當事者ノ云フ所ヲ指定スルハ、專屬ノ精神ニ違ヒマス、豫メ省令ヲ以テ極メテ置クト云フコトニ致シマス方

ガ、專屬主義ニ適フト思ヒマス

○(木村格之輔君) 第六條ニ檢事ハ事實及證據方法ヲ提出スルコトヲ許シテアル、是ニ付テ最ウ少シク説明ヲ……同時ニ檢事ガ事實及證據方法ヲ提出スルコトハ、婚姻ヲ維持スルタメニノミバカリ規定シテアリマスヤウデスガ、無効取消離婚ナドト云フヤウナ場合ニ檢事ニ此權ヲ與ヘナイデ置クハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(河村讓三郎君) 御答致シマスガ、第一ハ檢事ニ事實及證據方法ヲ提出スル權限ヲ與ヘタハドウ云フ理由カト云フコトハ、婚姻事件殊ニ此正當ニ成立ツテ居リマス婚姻事件ヲ故ナクシテ之ヲ争フモノガアルト云フコトハ、世ノ中ノ秩序ニ影響ヲ及ボスモノノデ、公益上之ヲ濟フ必要ガアルモノト認メマス、故ニ檢事ハ公益ノ代表者トシテ其真正ノ事實ヲ明カニスルタメニ職務ヲ行フト云フコトニ致シマシタ、第二ハ何故ニ是ヲ維持スルタメニノミサウ云フコトヲシテ、無効又ハ取消ノアル場合ニ職務ヲ行フコトヲセヌカト云フコトデスガ、御最モデゴザイマスガ、先ヅ世ノ中カラ見マシテ、一旦婚姻ヲ致シマシタナラバ、其婚姻ヲ容易ニ取消ス無効ニスルト云フコトハ望マヌ方デ、婚姻ノ結果ト云フモノハ、子モ出來マスシ、孫モ出來マスシ、從ツテ相續モ段々致シマシテ、之ヲ取消スト云フコトニナッテハ容易ナラヌ結果ヲ生ジマス、後ニ之ヲ取消スト云フ方ハ、先づ主張スルモノニ委シテ宜カラウ、之ニ反シテ維持スルト云フコトハ、特ニ必要ガアルト云フノデ維持スルタメト云フダケニ致シマシタノデ、百四號ノ法律ニモサウナッテ居リマス、其方ガ宜カラウト云フ考デゴザイマス

○(木村格之輔君) 第五條ノ第一項ニ據リマスルト、檢事ハ必ズ婚姻事件ニ付テハ、立會フナシテ意見ヲ述ベルコトヲ命ぜラレテアリマスガ、第三項ヲ見マスルト立會ヒタル場合トアリマスカラ、裏面カラ立會ハヌコトモアルヤウニ見ヘマスガ、是ハ必ズシモ立會ハナケレバナラヌト云フ注意デスカ

○政府委員(河村讓三郎君) フレハ二項ノ場合ヲモ合シテ、第三項ニ規定致シマシタモノデ、二項ノ方ハ檢事ハ受命判事又ハ受任判事ノ審問ニ立會シテ意見ヲ述ブルコトヲ得トアリマスカラ、ソレデ斯ウ云フコトニナッタノデアリハ、第一項ノ場合ニナリマス

○(木村誓太郎君) サウ致シマスト、一項ノ場合以外ニハ檢事ハ立會ハヌデモ宜シナイト云フノデスカ

○政府委員(河村讓三郎君) サウ云フ考ヘデ、ソレデ第二項ノ立會フノデ意見ヲ述ブルコトヲ得ト云フノハ、受命判事受任判事ノ證據調べノ場合デ、其方ニモ立會フコトガ出來マスガ、假リニ立會ヒマセヌト致シマシテモ、證據調べノ結果ハ審問ノ際ニ述ベマスカラ、ソレニ就イテ意見ヲ述ベルト云フノハ、

イモノトスルト、何回呼出ヲシテモ、相手方ガ呼出ニ應ジナイトキニハ、詰リ判決ヲスルコトガ出來ナイヤウニナリマスガ、是マデノ例ニ依リマスト、百四號ノ婚姻事件ナドニ於テ、第一回ノ節ニハ、缺席判決ハ出來ナイ、ガズルイ者デアル場合ニ於テハ、判決ノシヤウガナクナリマスガ、其場合ハドウナリマスカ

○政府委員(河村譲三郎君) 御答致シマス、其點ニ對シマシテハ、百四號ノ規定ヲ不當ト認メテ修正ヲ加ヘタ譯デアリマス、第十一條ニ依リマスト、被告ガ第一審ニ於テ最初ノ辯論ノ期日ニ出頭セヌト云フト、一番始メノ期日ニ被告が出廷シマセヌト、判決ヲ與ヘズシテモウ一應期日ヲ定メ直ス、サウシテ既得ノ權利ヲ害サヌヤウニシテアルノデゴザイマス、又一度目ニ參リマセヌトキニハ、舊法律ニ據リマスト、其時ニハ缺席判決ヲスルト云フコトニナッテ居リマセヌ、然ルニ缺席判決ハ前ニ申シマス如ク、被告ガ數回ノ公判ニ於テ假想ノ事實ニ由テ裁判ヲスルト云フコトニナリマスト、之ガ百四號ノ全体ノ性質ト違フ、是ハ不都合デアルト考ヘルカラ、缺席判決デナリ、對席判決ヲシテ自白シタモノト見做シテハ缺席裁判ハ致シマセヌガ、一方ノ云フ事ヲ聞キ、檢事ノ受理シタ事實ヲ調べテ、對席判決ヲスル、假想ノ判決ハシナイト云フコトデアリマス、二項ニ辯論ヲ命シテ判決ヲナスコトヲ得トアリマスガ、缺席判決ヲナスト云フノデハナイノデス、此場合ニ於テハ、民事訴訟法二百四十八條四百二十九條ノ規定ヲ適用セザルヲ以テ、至當ト見做シテ、缺席判決ヲシナイノデアリマス

○(木村哲太郎君) サウスルト、矢張第二回以後ニ缺席シタ場合ニハ、事實ト證憑ヲ取調べテ、一方ガ出席シテ他ノ一方ガ缺席ノ儘對審判決ヲスルト云フコトアリマスカ

○政府委員(河村譲三郎君) サウデス
○委員長(大岡育造君) 如何デゴザイマセウ、民事訴訟手續ノ御質問ガ終リマシタラバ、非訟事件手續法案ノ説明ヲ求メル積リデアリマスガ

(「異議ナシ」と呼ぶ者アリ)

○政府委員(河村譲三郎君) 本案ハ明治二十三年法律第九十五號非訟事件手續法ニ代ルベキモノデアリマシテ、舊法律ハ規定簡略ニ失シマシタモノデ、其手續等ニ就キマシテモ、殆ンド規定ガナイトシテモ宜シウゴザイマス、デ、非訟事件ト認メマス事件ガ餘程増加致シテ參リマシタカラ、其増加致シタ非訟事件ニ就イテ、手續ヲ設ケル必要ガ生ジテ來タノデアリマス、即チ本案ヲ提出ニナリマシタ理由ハ、ソコニアルノデアリマス、本案ハ第三編ヨリ成立致シマシテ、第一編ニ總則ヲ掲ゲマシタ、總則ノ規定ハ本案ニ掲ゲマシタ、自非訟事件ハ、固ヨリ尙ホ此他ニモ裁判所ノ管轄ニ屬スル非訟事件ガアリマス

ス、其非訟事件ニモ矢張適用スベキ一般ノ規定デアリマス、此總則ノ規定ハ、第一ニ手續ノ簡略ト云フコト、即チ訴訟手續ヲ如キハ錯雜ナ手續ヲ設ケマシテ、非訟事件ノ事デアリマスカラ、成ルベク手續ガ簡易ニ致シマセヌト行カヌト思ヒマス、第一ニハ、成ルベク費用ノ削減ヲ致シマスコトガ必要ト思ヒマス、第三ニハ、職權審理ト云フ主義ヲ採リマシタ、手續ノ簡略ト云フ事ハドウ云フコトニナリマスカラト云フト、例ヘバ裁判所職員ノ除斥ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ、之ヲ準用致シマセヌガ、忌避ニ關スル規定ヲ採リマシタト考ヘマス、是ガ即チ五條ノ規定デアリマス、ソレカラ裁判ノ方法決定ヲ以テ裁判ヲ致シマシテ、原本ノ作り方モ餘程簡易ニ致シマシタ、即チ十七條ニ掲ゲテアリマス、ソレカラ又裁判ノ送達是ハ訴訟ノ判決ノ送達ノ如クニ嚴重ニ致シマスル必要モアリマセヌト考ヘマシテ、裁判所ノ相當ト認ムル方法ニ依テ、是ヲナスコトニシマシタ、例ヘバ書記ヲシテ直チニ當事者ニ報告シテモ宜イ、尤モ其事ハチヤンド原本ニ記入シテ、亂雜ノ弊ハ防グコトニナクテ居リマス、ソレガ十八條ノ規定デアリマス、ソレカラ其他各々民事訴訟法ノ規定ヲ準用スルコトニ致シマシタガ、手續ハ簡易ニ致シテアリマス、第二篇以下ノ事柄ハ、總テ民法ニ規定致シマシタ非訟事件ニ就イテ、手續ヲ設ケマシタノデアリマス、ソレデ非訟事件ノ範圍デゴザイマス、極メテ狹イ定義ニ依レバ、非訟事件ハ權利ヲ保全スルタメノ手續キデアル、即チ權利ノ侵害ヲ受ケテ、サウシテ侵害ノ救濟ヲ求メルノハ、訴訟法デ非訟事件ハ侵害ハ受ケテ居ラヌケレドモ、侵害ヲ受クルコトノナイヤウニ、豫メ之ヲ保全シテ置クタメノ手續デアリマス、即チ權利ノ争ガアツテ、サウシテ其裁判ヲ受クルト云フ以外ノ事ハ非訟事件トシテ致シマシテ、ソレデ第二篇ノ一章乃至八章マデノ所ハ非訟事件トシテ、總テ是レハ權利ノ争ノナイコトバカリヲ規定シテアリマス、ソレカラ第三篇ハ商事非訟事件此方ニ規定致シマシタコトハ、主トシテ商事ノ事デ、登記ハ所謂權利保存ノ方法デアツテ、非訟事件ノ手續ニ當ル船舶ノ登記ナリ、均シク登記ハ特別法ニシナケレバナラヌ、ソレデ商業登記ハ總テ非訟事件手續法デアリマシテ、第三篇ノ第一章乃至第二章ニ規定シマシタ、ソレカラ委員長ニ御注意申シテ置キマスコトハ、民法ノ事ハ略茲デ決議ニナリマシテ、是ハ餘リ本案ニ影響ハアリマスマイト考ヘマスガ、商法ノ事デアリマス、商業登記ノ中ニ大分引用シタル箇條ガアリマスガ、自然商法が修正ニモナリマスト、其結果引用シマシタル條數ヲ改メマスカラ、豫メ申シ置キマス

○(木村哲太郎君) 唯今ノ御説明デアリマスト、此非訟事件ノ商法ニ關スル事柄ハ、無効ニナリハシマイカト思ヒマスガ……

○政府委員(河村譲三郎君) 唯今申シマシタ通リニ、商業登記ノ事ハ、商法

マス

○(谷澤龍藏君) 四條ト申シテ置キマシタガ、尙ホ他ニ差支ル點ガアレバ削除致シマス

○委員長(大岡育造君) 谷澤君カラ施行法中ニ五十二條五十四條五十五條六十一条ノ削除ガ出マシタガ、其要ハ民法ノ施行法案ニ於テ他ノ訴訟法ナリ刑法ナリ此法律ナリモノヲ改正スルハ當ヲ得ヌト云フ意味ヲ以テ、凡ソ此類ノモノハ皆削除スルト云フ御説デ、之ニ賛成ガアリマス、右ニ御同意ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長(大岡育造君) 少數デゴザイマス——民法施行法ニハ別ニ修正ハアリマセヌカ

○(山田泰造君) 私ハ成立チマスマイト思ヒマスガ、施行法案ノ四十七條ノ永小作權ガ此民法ヲ施行セラレテヨリ五十箇年ヲ經レバ、其日カラ起算シテ五十年ニ短縮スルト云フコトニナツテ居リマス、蓋シ斯ウ云フコトガ、私が人民ノ利害ヲ顧ミナイ、唯一遍ノ空理空論ニ依テ規定セラレテ居ル、併ナガラ、今マデノ民法ニハ稍其弊ヲ去ツテ誠ニ吾邦ニ適スルヤウニ出來テ居ルカラ、私ハ是マデノガ有難ク贊成ヲシテ居リマス

○委員長(大岡育造君) 簡單ニ

○(山田泰造君) 簡單ニモ程度ガアリマス、御承知デモアリマセウガ、或ハ又私共辯護士社會ニ於テモ知ラヌ人ガ最モ多イ、此モノヲ扱ツタ人デナケレバ知ラヌ、ソコデ永小作ニ二種アル、普通ノ永小作ハ舊幕時代二十箇年以上ハ小作シタ者ハ永小作權ヲ有シテ居ル、然ルニサウデナク最初山ナリ海ナリ沼ナリノ所有者ガアル、之ヲ勞力ヲ以テ拓ク、サウンテ永代地主ト同ジ權力ヲ有スルタメニ、勞力ヲ費シテナツタ、最初ハ永遠ニ所有者ハ權利ヲ有ツテ居ッタ處、此民法ニ由ルト、ソレラノ規定ガナク、唯今御説申シタ二十箇年ヲ繼續スレバ、永小作ト見做ス者モ、當初ノ契約ニ於テ、地主ト永遠ニ存在スルモノヲ併セテ廢シテ仕舞フ結果ニナル、斯ノ如キ事ハ法律ヲ以テ其權利ヲ束縛スベキモノデナイン、此事ハ害ガアツテモ益ガナイ、唯法理論カラ行クト、地主ノ所有權ヲ薄弱ナラシメルト云フコトニナリマス、故ニ、私ハマダ條文ハ起章致シマセヌガ、自分ノ趣意ハ但書デモ宜シイ、斯ウ云フコトニシタイ「特別ノ合意アル者ハ此限りニアラス」ト云フヤウニ、普通ノ永小作ト、唯今御説シタ如ク、當初ノ目的ニ齟齬シナリ規定ヲ此中ニ設ケテ置キタイト考ルノデゴザイマス、故ニ此法文ニシテ普通一般ノ永小作最初ヨリ區別アルモノト之ヲ混同スルト云フコトハ、國民ニ對シテ忌ムベキコト、思ヒマスカラ、茲ニ動議ヲ提出致シマス

○(谷澤龍藏君) 本員モ同感デアリマシテ、提出シヤウト思テ居リマシタガ、今山田君カラ効議ガ出マシタカラ贊成致シマス

○委員長(大岡育造君) 山田君ノ御説ハ贊成ガゴザイマセヌカラ、成立致シマセヌ

(「全部可決、贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(大岡育造君) 民法施行法案全部可決ノ事ニ就イテ御異議ガナイト認メマス、今度ハ人事訴訟手續、其第六條ニ削除ガアリマス、木村君カラ御提出ニナツテ居リマス

○(木村格之輔君) 簡單ニ申上ゲマス、檢事ハ婚姻ヲ維持スルガタメノミニ、原告ノ事實又ハ種々ナル證據物ヲ提出スルト云フ規定デゴザイマス、最モ干渉スルト云フ規定ニナツテ居リマス、併ナガラ、若シ維持スルガタメノミデナクシテ無効ノ場合又ハ取消ノ場合離婚ノ場合等ニモ、斯ウ云フ干涉ヲ許シテ居ル

ト云フナラバ格別ナコトデアリマスケレドモ、維持スルガタメノミニ、原告ノ地位ト同ジク證據物ヲ提出シタリ、事實ヲ擴張シタリスルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト云フ考ヘデゴザイマス、或ハ原告者ハ公益ノタメデアルカラ、最モ婚姻ハ大切ナモノデアルカラ、此條ヲ設ケタモノデアルト云フ、先刻御説明デアリマシタケレドモ、檢事ガ公益ノタメニ此訴訟ヲ維持スルト云フコトニ就イテハ、第五條ニ既ニ規定ガゴザイマス、辯論ニ立會シテ意見ヲ述ブルコトヲ要スト云ウノデアリマスカラ、必ず意見ヲ述ブルコトハ必要ナ條件トナツテ居リマス、然ルニ檢事が原告ノ地位ト同ジク證據物ヲ發見シテ提出スルト云フヤウニナリマシタナラバ、却ツテ當事者間ニ於テ穩カナラザルコトデアラウト思ハレルノデアリマス、或ハ原告ノ趣意ハ、當事者間ハサウ云フ發明ガ出來ナインデアラウト御心配ノタメニ置イタカモ知リマセヌケレドモ、若シ當事者ガ其コトガ出來ナイト假リニ定メテ見マシタ所ガ、他ノ事ト同ジク、辯護士ヲ頼ムコトガ出來ル、ソレニモ拘ハラズ、檢事が婚姻ヲ維持スルガタメニ、證據物マデモ提出スルコトガ出來ルト云フコトニナリマスルト、現ニ當事者ガアルニモ拘ハラズ、ソレニモ檢事が原告ノ地位トナツテ被告ヲ攻撃スルト云フヤウナ場合ガ生ズルノデゴザイマス、誠ニ穩カナラザルコトデアリマスカラ、此削除ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス

(「採決」ト呼フ者アリ)

○委員長(大岡育造君) 贊成者ガアリマセヌカラ、成立致シマセヌ、外二人事訴訟手續法案ニ就イテ御修正ノ議ガゴザイマセヌケレバ、全部可決ト認メマスルガ御異議ガゴザイマセヌカ

(「異議ナシ、異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(大岡育造君) 然ラバ人事訴訟手續法案モ可決致シマシタ、サウスルト、モウ一ツハ、非訟事件法案、此法案ハ最早質問ハ濟ミマシタガ、修正ノ動議ハゴザイマセヌ、直チニ御異議ノナイモノト認メテ宜シウゴザイマスカラ、致シマシタ、此旨ヲ報告致シマス、大キニ御苦勞デゴザイマシタ

午前十一時四十三分散會